

旧玉名干拓施設（明豊・大豊潮受堤防）の草刈り活動

令和4年10月22日（土）午前7:30から熊本県玉名市の旧玉名干拓施設（明豊・大豊潮受堤防）（熊本県玉名市）で行われた、横島町文化財保存顕彰会主催の旧玉名干拓施設の草刈り活動に300名（うち会員128名）参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、^{すえひろ}未広開、^{びらき}明丑開、^{めいちゆうびらき}明豊開及び^{だいほうびらき}大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmにも及び、国の重要文化財にも指定されています。

本年度は、同施設の東側の明豊潮受堤防・大豊潮受堤防（2.4km）を対象に、除草作業が行われました。

今年も昨年に続きコロナウイルス感染拡大防止のため当日はマスク等の着用も行った上で、早朝から集合し、各自持参した草刈り機、鎌などで、旧堤防に生えた雑草や雑木の除去、ゴミ拾い等を行いました。作業は秋晴れの空のもとで無事に済み予定時間内（9時まで）に対象範囲の草刈り活動を終えることが出来ました。

参加者の集合状況



草刈りの作業状況



草刈りの作業状況



草刈りの作業完了

